

## 国スポ改革タスクフォースについて

## &lt;第4回&gt;

1. 期日 令和8年5月29日(金)10時から12時
2. 会場 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 12階会議室  
(Web会議併用)
3. 主な協議内容
  - 大会の特徴について
  - 競技会等の形式について



第5回会議(令和8年8月頃実施)では、中間まとめ(案)を公表予定

※令和9年6月までに全8回予定、非公開で実施。会議資料及び議事概要をJSPO HPIにて公開。

# 新たな国スポコンセプトに基づく改革の方向性(イメージ)で示された要素と国スポ改革(案) まとめ

## 競技性 トップアスリートの参加

- 💡 **改革① (提言1)**
  - 開催時期の分散化(通年開催)
    - ✓ 本大会、冬季大会を区分しない
    - ✓ 従来の短期集中型から通年型へ
    - ✓ トップアスリートが参加しやすい大会へ

- 💡 **改革② (提言3)**
  - 新たな実施競技区分に変革
    - ✓ 国スポ改革のコンセプトを反映
    - ✓ 都道府県対抗の枠組みは維持
    - ✓ 都道府県における選手育成の成果を自己評価できる仕組みに変革

- 💡 **改革⑧ (提言6)**
  - 競技数、参加人数の適正化
  - 新たな競技の導入
    - ✓ 選手の負担軽減
    - ✓ 競技に加え、観戦の魅力を創造

## 祝祭性 集まる・つながる

- 💡 **改革③ (提言5)**
  - 年1回のセレモニーを実施
    - ✓ 総合開・閉会式の在り方を見直し、新たな大会理念を体現する象徴的なセレモニーとして位置づけ
    - ✓ スポーツ・文化・地域の魅力を発信

- 💡 **改革④ (提言3)**
  - 総合表彰式をJSPOが実施
    - ✓ 総合閉会式で実施していた表彰式をJSPOが実施
    - ✓ 競技結果はもとより、都道府県における選手育成の成果を全国で共有

## 社会性 持続可能な大会運営と地域づくり

- 💡 **改革⑤ (提言4)**
  - 開催地立候補制の導入
    - ✓ 「開催しなければならない」から「開催したくなる」大会へ
    - ✓ 地域の特色や文化を生かした主体的な地域づくりへ

- 💡 **改革⑥ (提言4)**
  - 広域(複数都道府県)開催の導入
  - 固定化(聖地化)の導入
    - ✓ 1開催県あたりの競技数、参加者数の適正化、効果の最大化
    - ✓ 人口減少、財政制約下でも持続可能な大会の形を構築

- 💡 **改革⑦ (提言4)**
  - 国民スポーツ大会施設基準の全面改定等
    - ✓ 過剰な施設整備とならないような基準や制度を構築
    - ✓ 既存施設活用による持続可能な地域スポーツ環境

(提言●)…今後の国民スポーツ大会の在り方を考える有識者会議「提言」で示された各論の項目番号に対応することを示す

開催都道府県の負担軽減を図り、魅力ある持続可能な大会、文化との融合を実現

## 第 80 回国民スポーツ大会(青森県)各競技会場におけるイベント事業について

## 1. 事業の趣旨・目的:

国民スポーツ大会の競技会場は、当該競技の関係者のみならず、地元ボランティアが競技会運営に関わるとともに、多くの地域住民が観戦に訪れる場となっている。また、競技会運営のため、当該競技における我が国トップクラスの指導者や審判等が集う場ともなっている。

この機会を活用し、会場地におけるスポーツの普及・推進の一環として、地域住民や観客を対象に当該競技団体によるイベント事業を実施し、当該競技の魅力を広くPRするとともに、国民スポーツ大会の充実・活性化を図る。

## 2. 主催・主管:

主催…公益財団法人日本スポーツ協会、中央競技団体

主管…都道府県競技団体等

※ 必要に応じ主催・主管・協力として会場地市町を加えることができる。

## 3. 実施内容:上記「1. 事業の趣旨・目的」に沿ったものであること

〈例〉エキシビジョン試合、体験教室、競技の解説・デモンストレーション、  
著名な選手・指導者等による講演会・講習会・サイン会等

## 4. 実施会場:当該各競技会場及びその周辺施設

## 5. 実施時期:原則として、当該各競技会実施期間内

## 6. 留意事項:

- ・ 各事業は、中央競技団体が主体的に企画・運営するものとする。
- ・ 中央競技団体は、都道府県競技団体、会場地市町と十分に協議・調整を行った上で各事業を実施すること。
- ・ 実施にあたり多額の経費負担が新たに発生しないこと。
- ・ 一般の方を対象とすることから、安全面については特に配慮すること。
- ・ 中央競技団体及び都道府県競技団体は、参加者の負傷等に備え、イベント保険への加入等必要な対策を行うこと。
- ・ 競技会運営に支障をきたさない範囲で実施できる内容であること。

## 第80回国民スポーツ大会(青森県)の各競技会場におけるイベント事業について

2026/5/26時点

競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場		参加者・対象者
1	テニス	TENNIS PLAY&STAY	令和8年10月10日(土)10:00～	大進建設スポーツ広場テニスコート	青森市	・参加対象者:小学生(6歳～11歳)未経験者 ・参加者数:30名程度
2	ホッケー	・試合中におけるルールを中心にした解説 ・ホッケー競技の歴史や世界におけるホッケー競技の状況などを説明	令和8年9月4日(金)～8日(火)	・青森県立三沢高等学校 ホッケー場 ・六ヶ所村内子内農山村広場多目的広場	・三沢市 ・六ヶ所村	ホッケー競技観戦者300名程度
3	体操	公認体操プログラム「The Taiso(ザ・タイソウ)」	・決勝競技終了後 ・成年男女 第1、2班の入れ替え ・開会前のウォーミングアップ時間帯での短縮版実施も検討 ※会場運営と調整、10～15分の枠を確保	青森県武道館	弘前市	・参加対象者: 競技を観戦に来場した観客(年齢問わず) ・参加者数(観戦者数): 約500～1,000名
4	バスケットボール	・ハイタッチキッズ ・ハーフタイムダンス(決勝時のハーフタイムショー)※むつ市のみ	令和8年10月18日(日)～19日(月)	各開催都市会場決勝メインコート	・むつ市 ・八戸市 ・十和田市 ・三沢市	・ハイタッチキッズ:12～40名(U12カテゴリー) ・ダンス:40名(高校生)
5	セーリング	・レースの観戦、実況放映及び解説 ・インターネットを活用したトラッキング・システム ・エコバック製作ワークショップの開催	①令和8年9月4日(金)～7日(月) ※レースが実施される時間帯 ②令和8年9月4日(金)～7日(月) ※レースが実施される時間帯 ③令和8年9月4日(金)～6日(日)	・青森県むつ市大平マリーナ ・マエダアリーナ	むつ市	①視聴者概数:選手・役員、視察者、選手家族、一般観戦者 約1,000名 ②インターネット視聴者:視聴者 数千名 ③参加者:観客、選手・関係者 約60名
6	ウエイトリフティング	・映像装置を活用した競技説明 ・一流選手の動画などの上映	令和8年10月10日(土)～14日(水) ※競技開始前や休憩時間を利用して上映 ※1日5～6回程度	ひらかわドリームアリーナ	平川市	・参加対象: 観戦者及び競技関係者 ・参加者数: 約2,000名
7	ソフトテニス	・チャレンジマッチ ・抽選会 ・記念撮影	令和8年10月17日(土) 16:00～17:00	新青森県総合運動公園テニスコート	青森市	・参加対象者:ジュニア層(小学生～中学1年生) ・参加者数:50人
8	軟式野球	キャッチボールクラシック	令和8年10月11日(日)12:30～	合浦公園多目的広場	青森市	・参加対象者:青森県軟式野球連盟 登録 学童・少年チーム ・参加者数:約40チーム(約400名)
9	相撲	「相撲体操」講習会	令和8年9月9日(木)		十和田市	小学生50名～60名
10	馬術	①馬術競技観戦者に対する観戦ミニガイドの作成・公開(HP掲載) ②競技のインターネットライブ配信に加え、放送委員による実況および競技のわかりやすい解説 ③桜流鏝馬演武	令和8年10月15日(木)～18日(日) ※競技開催期間中毎日(桜流鏝馬演武のみ期間中1日)	山梨県馬術競技場	山梨県北杜市	馬術競技観戦者
11	フェンシング	①会場放送解説者 ②青森県フェンシングキッズによる選手エスコート。 ③フェンシング体験会	令和8年10月10日(土)～13日(水) ・10:00～12:00 ・13:00～15:30	むつマエダアリーナ及びしもきた克雪ドーム	むつ市	・視聴者概数:選手・役員、視察者、選手家族、一般観戦者 約500名 ・参加者:観客、選手・関係者 約100名
12	柔道	・全日本強化選手(男女各1名)による得意技の披露 ・地元柔道少年(小学生)との練習会 ・トークイベント	令和8年10月18日(日) 11時15分(成年男子決勝戦終了後)～11時45分	伊藤鉱業アリーナつがる (つがる市総合体育館)	つがる市	・地元小学生(男女各8名計16名) ・役員約1,500名 ・補助員を含む会場内観覧者
13	ソフトボール	ソフトボール教室 ※オリンピック等を招き、県内の子ども向けにソフトボール体験会・教室を実施	2026年9月21日 時間未定(10時～16時頃)	ひらかわドーム	平川市	参加対象者:100名(未就学児～高校生)

第80回国民スポーツ大会(青森県)の各競技会場におけるイベント事業について

2026/5/26時点

競技名	種目名	実施内容	実施日時	実施会場		参加者・対象者	
14	弓道	弓道体験コーナー	・令和8年10月10日(土) 9:30~16:00 ・令和8年10月11日(日) 9:30~16:00 ・令和8年10月12日(月) 9:30~15:00 ・令和8年10月13日(火) 9:30~12:00	青森県武道館周辺	弘前市	・参加対象者:観戦者 ・参加者数:約500名	
15	ライフル射撃	①ビームライフル・ビームピストル体験射撃コーナー ②ピストル体験射撃コーナー	①令和8年9月13日(火)10:00~15:00 ②令和8年9月11日(日)~13日(火)10:00~14:00	①弘前克雪トレーニングセンター ②青森県警察学校	・青森市 ・弘前市	・参加対象者: ①小中学生及び一般(高校生以上)を対象、先着順 ②小中学生及び一般(高校生以上)を対象、先着順 ・参加者数: ①約50名 ②約150名	
16	カヌー	SP	カヌー体験会	令和8年6月中旬		西目屋村	小学生から大人までのカヌー初心者 約50名
		SL/WW	「カヤッククロス」デモンストレーション	令和8年9月6日(日)スラローム15ゲート 競技終了後	目屋溪谷岩木川カヌー競技場	西目屋村	往年の名選手8名程度
17	アーチェリー	競技体験コーナー	令和8年10月5日(月) 9:00~15:00 令和8年10月6日(火) 9:00~15:00 令和8年10月7日(水) 9:00~13:30	カクヒログループアスレチックスタジアム	青森市	・参加対象者:小学生以上 ・参加者数:約300名	
18	空手道	「お囃子」の演奏	令和8年10月17日(土) 12:30 ※15分程度	青森県武道館	弘前市	凱立会12名程度	
19	なぎなた	①選手への応援メッセージの作成 ②リーフレットの配布(なぎなたの簡単な説明等) ③全日本なぎなた連盟よりプレゼント(応援メッセージ参加者)	令和8年10月17日(土)~18日(日)	スポーツプラザ藤崎	藤崎町	会場に応援・見学にきている方	
20	銃剣道	開催地青森県銃剣道連盟より派遣の演武者によるデモンストレーション演武	2026年10月11日 9時40分	三沢市国際交流スポーツセンター	三沢市	銃剣道競技観覧者 約250名	

## 第80回国民スポーツ大会(青森県)実施競技における トップアスリート特例措置対象選手一覧

2026/6/8

No.	競技名	対象区分(※)				第80回青森大会 対象者数	第79回滋賀大会 対象者数	増減対比
		①	②	③	④			
1	陸上競技	○	○	○	○	400名	406名	-6名
2	水泳	○	○	○		227名	226名	+1名
3	サッカー	【対象者なし】				—	—	—
4	テニス	○	○	○	○	34名	29名	+5名
5	ローイング		○		○	2名	22名	-20名
6	ホッケー	【対象者なし】				—	64名	-64名
7	ボクシング	【隔年実施競技のため実施なし】					23名	—
8	パレーボール				○	5名	48名	-43名
9	体操	○	○	○	○	26名	27名	-1名
10	バスケットボール		○	○		42名	47名	-5名
11	レスリング	【対象者なし】				—	—	—
12	セーリング	○	○		○	21名	14名	+7名
13	ウエイトリフティング		○			12名	11名	+1名
14	ハンドボール	【対象者なし】				—	—	—
15	自転車	○			○	33名	28名	+5名
16	ソフトテニス			○	○	45名	47名	-2名
17	卓球	○	○		○	15名	17名	-2名
18	軟式野球	【対象者なし】				—	—	—
19	相撲	【対象者なし】				—	—	—
20	馬術	【対象者なし】				—	—	—
21	フェンシング	○	○	○	○	44名	60名	-16名
22	柔道				○	134名	129名	+5名
23	ソフトボール		○			25名	—	+25名
24	バドミントン	○	○	○	○	86名	91名	-5名
25	弓道	【対象者なし】				—	—	—
26	ライフル射撃	○	○		○	29名	34名	-5名
27	剣道	【対象者なし】				—	—	—
28	ラグビーフットボール	【対象者なし】				—	—	—
29	スポーツクライミング	○	○	○	○	53名	50名	+3名
30	カヌー	○	○	○		101名	112名	-11名
31	アーチェリー	○	○			12名	12名	±0名
32	空手道				○	68名	70名	-2名
33	銃剣道	【対象者なし】				—	—	—
34	クレー射撃		○			1名	【隔年実施競技のため実施なし】	+1名
35	なぎなた	【対象者なし】				—	—	—
36	ボウリング				○	19名	19名	±0名
37	ゴルフ			○	○	21名	20名	+1名
38	トライアスロン				○	5名	4名	+1名
		合計				1,460名	1,610名	-150名

※対象区分:①パリオリンピック競技大会参加者、②JOCオリンピック強化指定選手  
③国内ランキング上位者、④中央競技団体強化指定選手

## トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置

我が国の競技力向上を支援する観点より、一定の競技力を有する選手に対して、「トップアスリートの国民スポーツ大会参加資格の特例措置（以下「本特例」という。）」を下記のとおり定める。（国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項）

### 1. 特例の対象となる選手

本特例の対象となる選手は、下記の条件のいずれかを満たす者とする。

- 1) 大会開催の直近に開催されたオリンピック競技大会（冬季競技はオリンピック冬季競技大会）に参加した者。
- 2) 大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）時点で、下記のいずれかに該当し、各中央競技団体が本特例の対象として認めた者。
  - (1) JOC オリンピック強化指定選手
  - (2) 各競技（種目）における国内ランキング上位10位以内の者
  - (3) 中央競技団体が定めた強化指定選手

※ 強化指定ランクについては、各競技における全日本選手権大会入賞レベル以上のカテゴリーを対象とする。

### 2. 特例の内容

#### 1) 予選会の免除

本特例の対象となる選手については、都道府県予選会及びブロック大会を経ずに国民スポーツ大会本大会に参加することができるものとする。ただし、ブロック大会実施競技種目・種別においては、当該都道府県代表選手又はチームがブロック大会に参加し、本大会参加枠を獲得している場合とする。

#### 2) 資格要件（日数要件の緩和）

本特例の対象となる選手が所属都道府県として「居住地を示す現住所」又は「勤務地」を選択する場合は、日数に関する要件を定めないこととし、以下のとおりとする。

##### (1) 居住地を示す現住所

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、住民票記載の住所に存する都道府県において生活している実態があり、当該都道府県以外（海外を含む）において生活している実態がないこと。

なお、生活の実態については、下記要件により判断する。

1. 自ら所有する住居、又は自らの名義で住居を賃借していること
  2. 当該住居に生計を一にする家族と共に住んでいること
  3. 当該住居の水道光熱費など費用を自ら負担していること
  4. 当該住居に主要な家財道具が存すること
- ② 合宿、試合等により当該都道府県外で活動を行う場合、当該都道府県を移動の起点としていること。

## (2) 勤務地

次の要件をいずれも満たすものとする。

- ① 当該大会開催年の4月30日以前（冬季大会はこの前年同日）から大会終了時まで引き続き、雇用主と雇用契約を締結した上で、当該都道府県内に存する雇用主の会社や事業所等に現実に通勤し、勤務していること。
- ② 当該都道府県内で、競技普及活動等の事業に参加すること。

## 3. 国内移動選手の制限

本特例の対象となる選手の国内移動選手の制限については、国民スポーツ大会開催基準要項細則第3項-(1)-1)-③の通りとする。

## 4. 特例の適用に係る手続き

- 1) 正式競技実施中央競技団体は、当該大会開催年の4月30日（冬季大会は前年10月31日）現在における「1. 特例の対象となる選手」の氏名等を別に定める様式により、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。
- 2) 公益財団法人日本スポーツ協会は、「国民スポーツ大会参加申込システム」内にて、特例対象選手一覧を公表する。
- 3) 参加都道府県体育・スポーツ協会は本特例活用者を別に定める様式により、当該大会実施要項で定めた参加申込み締切り期日までに、公益財団法人日本スポーツ協会宛に提出する。

## 5. その他

本特例に定めのない事項については、必要に応じ国民スポーツ大会委員会において協議するものとする。

## 附則

本特例は、平成23年12月15日に制定し、第67回本大会より施行する。

本特例は、平成26年5月15日に改定し、第69回本大会より施行する。

本特例は、平成29年6月16日に改定し、第73回より施行する。

本特例は、平成30年4月1日に改定し、同日より施行する。

本特例は、令和5年4月1日に改定し、同日より施行する。

本特例は、令和6年1月1日に改定し、同日より施行する。

## 第80回国民スポーツ大会(青森県)における予選会免除対象大会

令和8年6月2日現在

## ◆ 第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)

【免除対象競技】 18競技

陸上競技、水泳、テニス、ローイング、バレーボール、体操、ウエイトリフティング、自転車、卓球、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、スポーツクライミング、アーチェリー、空手道、クレール射撃、ゴルフ

## ◆ 日・韓・中ジュニア交流競技会(2026/日本)

【免除対象競技】 6競技

陸上競技、テニス、バレーボール、ウエイトリフティング、卓球、バドミントン

## ◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名		対象大会	
		No.	大会名
1	陸上競技	1	タラハシー2026世界クロスカントリー選手権
		2	トルン2026世界室内陸上競技選手権
		3	揚州 2026東アジアハーフマラソン選手権
		4	第31回世界競歩チーム選手権
		5	ボツワナ2026世界リレー
		6	第21回U20世界陸上競技選手権
2	水泳	7	第14回パンパシフィック選手権 競泳
		8	第11回ジュニアパンパシフィック選手権 競泳
		※1	9 アジアエージ選手権 競泳
		10	第14回パンパシフィック水泳選手権 OWS
		11	第20回アジア選手権大会 飛込
		※2	12 アジアエージグループ選手権大会 飛込
		※1	13 アジアエージ選手権 AS
		14	世界ジュニア選手権 AS
3	サッカー	15	アジア大会(2026/浜松) AS
		16	AFC U17女子アジアカップ中国2026
		17	FIFA U-20女子ワールドカップポーランド2026
4	テニス	18	AFCU-17アジアカップサウジアラビア2026
		19	全仏オープン
		20	ウィンブルドン選手権
		21	ワールドジュニア男子 アジア/オセアニア最終予選
		22	ワールドジュニア女子 アジア/オセアニア最終予選
		23	デビスカップジュニア アジア/オセアニア最終予選
		24	ビリージーンキングカップジュニア アジア/オセアニア最終予選
5	ローイング	25	ローイングワールドカップⅠ
		26	ローイングワールドカップⅡ
		27	ローイングワールドカップⅢ
		28	U23ローイング世界選手権
		29	U19ローイング世界選手権
		30	世界ローイング選手権
6	ホッケー	※1	31 FIH男子ネイションズカップ
		※1	32 FIH女子ネイションズカップ

◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名	対象大会	
	No.	大会名
7 バレーボール	33	バレーボールネーションズリーグ2026(男子大会)
	34	2026男子アジア選手権兼オリンピックアジア予選
	35	2026男子U17世界選手権(カタル)
	36	2026男子U18アジア選手権大会
	37	バレーボールネーションズリーグ2026(女子大会)
	38	2026女子アジア選手権兼オリンピックアジア予選
	39	2026女子U17世界選手権(チリ)
	40	2026女子U18アジア選手権大会(タイ)
	41	2026女子アジア東部地区選手権大会(ホンコンチャイナ)
	42	2026ビーチバレーボールU19アジア選手権大会
	43	2025ビーチバレーボールU18世界選手権大会
	44	第6回アジアビーチゲームズ2026(中国・三亜)
8 体操	45	第54回世界体操競技選手権
	46	第13回アジア選手権(シニア)
	47	第19回アジア選手権(ジュニア)
9 セーリング	48	The Trofeo S.A.R Princesa Sofia Regatta
	49	2026 470 World Championship
	50	ILCA 7 Men's World Championship
	51	ILCA 6 Women's World Championship
	52	2026 iQFOiL World Championship
10 ウエイトリフティング	53	2026世界ジュニア選手権大会
	54	2026世界大学選手権大会
	55	2026世界選手権大会
11 自転車	56	アジア自転車競技選手権大会(ロード)
	57	アジア自転車競技選手権大会(トラック)
	58	UCI世界選手権大会(トラック・ジュニア)
	59	ツール・ド・ラビティビ
12 卓球	60	世界卓球選手権大会(団体戦)
	61	世界ユース卓球選手権大会
	62	ユースオリンピック競技大会
	63	アジアユース卓球選手権大会
13 フェンシング	64	2026年アジア選手権大会
	65	2026年世界選手権
	66	2026アジア競技大会
14 柔道	67	2026世界カデ柔道選手権大会(エクアドル/グアヤキル)
15 ソフトボール	68	第2回男子U23ワールドカップ
	69	第18回女子ワールドカップ・グループステージ
16 バドミントン	70	世界バドミントン選手権大会
	71	アジアバドミントン選手権大会
	72	世界ジュニアバドミントン選手権大会
	73	アジアジュニアバドミントン選手権大会
17 ライフル射撃	74	ISSFワールドカップグラナダ大会
	75	ISSFワールドカップミュンヘン大会
	76	ISSFジュニアワールドチャンピオンシップズール大会
	77	ISSFワールドカップ杭州大会
18 スポーツクライミング	78	IFSCクライミングワールドカップシリーズ
	79	IFSCユース世界選手権
	80	IFSCアジアユース選手権
	81	IFSCアジア選手権

◆ 各中央競技団体が指定する世界選手権大会等の国際大会

競技名		対象大会	
		No.	大会名
19	カヌー	82	カヌースラロームワールドカップ第1戦～第3戦
		83	カヌースラロームジュニア・U23世界選手権大会
		84	カヌースラローム世界選手権大会
		85	2026カヌースプリントワールドカップ第1戦～第3戦
		86	2026カヌースプリントU23,ジュニア世界選手権
20	アーチェリー	87	第2回ワールドカップ
		88	第3回ワールドカップ
		89	第4回ワールドカップ
		90	2026アジアユース選手権大会
21	空手道	91	第22回アジアシニア空手選手権大会
22	クレー射撃	92	Asian Championship Shotgun
		93	ISSF World Cup Shotgun
		94	ISSF Junior World Cup Rifle / Pistol / Shotgun
		95	ISSF World Cup Shotgun
		96	ISSF Junior World Cup Rifle / Pistol / Shotgun
		97	ISSF World Cup Shotgun
23	ボウリング	98	2026 IBF World Youth Championships
		99	25th Asian Junior Tenpin Bowling Championships

※1 会期が確定したことから予選免除対象大会として正式決定する。

※2 選手の派遣が承認されたことから、新たに予選会免除大会として追加した。

※3 候補大会の追加や変更が生じた場合は山本委員長に一任する。

# 国スポにおけるチケット販売実証事業 概要

資料No.17

## 〔趣旨〕

- ・国スポ改革における「持続可能な大会運営」の実現に向け、開催自治体の財政的な負担軽減や新たな財源確保に向けた実証事業として、観戦チケットの有料販売に取り組む。
- ・ホスピタリティを通じて付加価値の高い観戦体験を提供し、「みる」スポーツとしての魅力向上を図る。

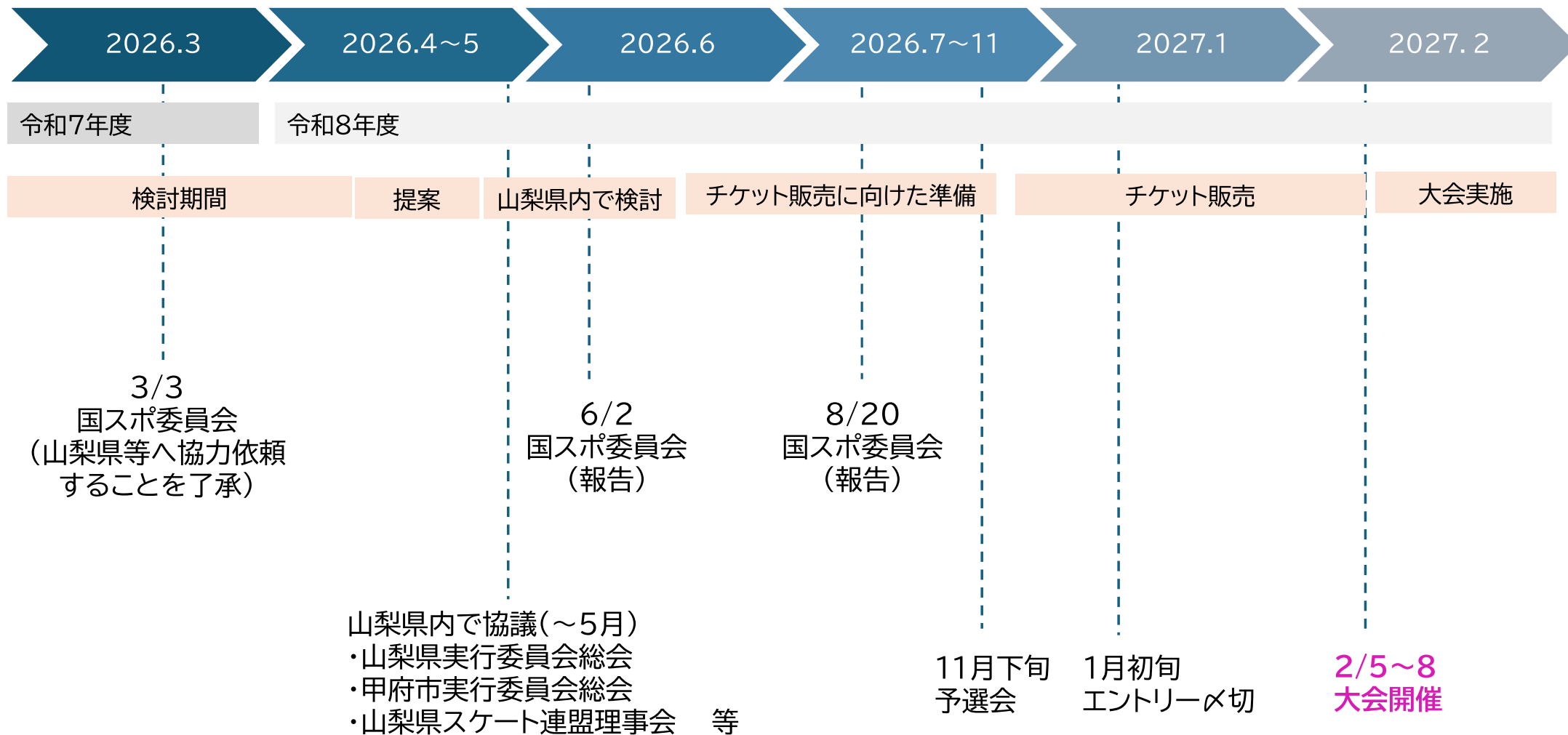
## 〔目的〕

- ・チケット販売(ホスピタリティ含む)の仕組みづくりの検討
- ・今後の展開に向けたノウハウの蓄積及び課題の抽出

## 〔詳細〕

1. 対象大会 【名称】第81回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(フィギュアスケート)  
【期日】令和9(2027)年2月5日(金)～8日(月)  
【場所】小瀬スポーツ公園アイスアリーナ(山梨県甲府市小瀬町840)
2. 実施主体 国スポサポートセンター(JGSC) ※チケットिंगPTを設置
3. 実施内容 チケット販売の詳細(販売・販促方法、数量、料金等)は、開催地等の関係者と協議の上決定
4. 経 費 チケット販売経費は、JGSCが負担
5. 売 上 売上はJGSCが管理し、必要経費を整理した上で、開催地への還元の在り方について検討

# 国スポ大会におけるチケット販売実証事業スケジュール(案)



令和7(2025)年度 第4回国スポ委員会 議事概要

1. 日時 : 令和8(2026)年3月3日(木)14:00~16:10

2. 出席者 : 【委員】(敬称略)

<出席>

(現地)

山本 浩、松永 敬子、金子 日出澄、加藤 光国、田崎 博道、三ヶ田 礼一、  
辻 睦弘、中嶋 実、北島 隆英

(WEB)

鹿島 丈博、櫻井 由香、三宅 宏美、稲垣 公雄、笠野 英弘、山澤 文裕、  
宇野 武、佐橋 誠、田内 慎也、山下 栄次、中村 宏平

(オブザーバー)

森岡 裕策、岩田 史昭

<欠席>

山本 誠三、菅原 哲朗、松田 基子、元橋 洋介、出崎 和夫、熊谷 利彦、  
吉田 崇、藤本 格

【JSPO 事務局】

国スポ推進部・国スポ課(加藤、小澤、品治、富澤、政岡、坊、小河原)

3. 開催方法:オンライン・対面の併用開催

4. 議事:

協議事項1:第5期実施競技選定関係〔非公開〕

<概要>

進捗について報告し、今回の委員会では協議しないことを説明した。

協議事項2:第79回大会本大会関係(滋賀県)

(1)参加資格違反(ブロック大会・本大会)(資料No.2/P.1)

<概要>

第79回大会において発生した計5件の参加資格違反について、当該者・団体に対する処分が提案の通り承認された。

<主な意見>

笠野委員	事案②について今回の例外対応ではなく、処分を行う場合、出場した記録は抹消されるのか。
事務局(政岡)	事案②は、「国民スポーツ大会における違反に対する処分に関する規程 第2章 第5条 2.(3)」により、処分を行う場合でも成績は訂正されない。
辻委員	事案①は、競技会開始前に違反が発覚し、出場を辞退したことに対し、事案②は、競技会終了後に違反が発覚しているのにも関わらず、処分は同一である。両処分に差をつけなくてよいか。
事務局(加藤)	両事案とも当該選手は少年種別年齢域に該当するとともに、過失を認めるには至らないとの判断に加え、教育的な配慮の視点も踏まえ、処分免除とした。

### 協議事項3: 第 80 回大会本大会(青森県)関係

#### (1) 実施要項の変更について(資料No.3-1/P. 10)

##### <概要>

第 80 回大会における実施要項の変更について、提案の通り承認された。

##### <主な意見>

加藤委員	高校野球の7イニング制について、様々な意見がある中で高等学校野球連盟が出した結論を尊重する。
山澤委員	昨年度から取り入れた高校野球の7イニング制が青森大会においても継続されることは、昨年度の滋賀大会での実施が評価された結果であると考えられるため、賛成する。

#### (2) 役員懇談会の中止及び中止に伴う令和 8 年度国民スポーツ大会功労者表彰式の取り扱い(資料 No.3-2/P. 31)

##### <概要>

第 80 回国民スポーツ大会本大会における役員懇談会について、総合開会式からの一連のスケジュールなどを総合的に判断し中止とすることが承認された。なお、役員懇談会の中止に伴い、本懇談会に先立ち、実施していた国スポ功労者への表彰式についても、中止とし、受賞者には通知にて対応し、表彰式については、本委員会にて功労者の決定が承認された日とすることについて併せて諮り、承認された。

##### <主な意見>

三ヶ田委員	役員懇談会をなくすという考えは選択肢としてあるのか。
森岡専務理事 (オブザーバー)	JSPOとしては、できる限り開催する方向で毎年開催県に打診している。
岩田常務理事 (オブザーバー)	役員懇談会の発端を振り返ると47都道府県スポーツ協会の総意にて始まった。そのため、JSPOのみで判断することはできない。

### 協議事項4: 第 81 回大会冬季大会関係

#### (1) スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)における公式ポスター図案及び規定書体案(山梨県)(資料No.4-1/P.32)

##### <概要>

第 81 回大会冬季大会関係スケート競技会(ショートトラック・フィギュア)における公式ポスター図案及び規定書体案について、武田菱デザインの使用方法について一部確認することとし、問題ないことが分かり次第、提案を承認することとした。

##### <主な意見>

山澤委員	武田菱は、山梨県の公式のマークなのか。
八巻(山梨県)	山梨県のゆかりの人である戦国大名甲斐武田氏、及び安芸武田氏の家紋である。
山本委員長	商標上の許可は行っているのか。
辻委員	武田菱を縦横変更して使うことは大丈夫なのか。
松永委員	武田菱の隙間等も定め、どの資料でも同じマークを使用するようにした方がいいのでは。
八巻(山梨県)	商標については未確認である為、辻委員、松永委員の指摘と合わせて確認する。

#### (2) スケート競技会(スピード)における宿泊料金及び昼食(弁当)料金の設定(岐阜県)(資料No.4-2/P.33)

##### <概要>

第 81 回大会冬季大会関係スケート競技会(スピード)における宿泊料金及び昼食(弁当)料金について、下記の通り説明し承認された。

宿泊料金(税込)		弁当料金(税込)
1泊2食	素泊まり	1,188円以内
9,240円～19,800円	6,468円～13,860円	

<意見>

特になし。

(3) アイスホッケー競技会における宿泊料金及び昼食(弁当)料金の設定(神奈川県)(資料No.4-3/P.34)

<概要>

第81回大会冬季大会関係アイスホッケー競技会における宿泊料金及び昼食(弁当)料金について、下記の通り説明し承認された。

宿泊料金(税込)		弁当料金(税込)
1泊2食	素泊まり	1,728円以内
11,000円～23,650円	8,800円～22,000円	

<主な意見>

中村委員	素泊まり料金は、1泊2食料金の70%相当額ではなかったか。
小川(神奈川)	ホテルによって対応が異なる可能性がある為、今後検討する。

(4) アイスホッケー競技会における中央競技役員数及び同所要経費基準について(神奈川県)(資料No.4-4、P.35)

<概要>

第81回大会冬季大会関係アイスホッケー競技会における中央競技役員数及び同所要経費基準について、資料の通り説明し承認された。

<意見>

特になし。

(5) スキー競技会における宿泊料金及び昼食(弁当)料金の設定(岩手県)(資料No.4-5/P.36)

<概要>

第81回大会冬季大会関係スキー競技会における宿泊料金及び昼食(弁当)料金について、下記の通り説明し承認された。

宿泊料金(税抜)		弁当料金(税抜)
1泊2食	素泊まり	1,100円以内
7,500円～20,000円	5,250円～14,000円	

<意見>

特になし。

協議事項5:第81回大会本大会(宮崎県)関係

(1) 記録情報処理システムの指定(資料No.5-1/P.37)

<概要>

標記大会の記録情報処理システムの運用会社については、一般社団法人共同通信社と株式会社時事通信社及びデータスタジアム株式会社(連名による申請)の2社を指定することが承認された。

<意見>

特になし。

(2)宿泊要項(資料No.5-2/ P.44)

<概要>

第81回大会本大会における宿泊要項について、資料の通り説明し承認された。

<意見>

特になし。

協議事項6:第82回大会冬季大会・本大会(長野県)関係

(1)医療救護要項(資料No.6/ P.56)

<概要>

第82回大会冬季大会・本大会における医療救護要項について、資料の通り説明し承認された。

<主な意見>

山澤委員	実際に現場で医療救護要項の内容が実施されるよう準備してほしい。
田崎委員	国スポ・障スポ間では、違いはあるのか。
北島委員	今回承認された医療・救護実施要項では、両大会に適用し、大きな枠組みについて記している。今後本実施要項に基づき作成する「医療・救護要領」では、両大会の特徴に応じて詳しく記載する。

協議事項7:第84回大会本大会(島根県)関係

(1)愛称・スローガン及びマスコットキャラクター(資料No.7/ P.61)

<概要>

第84回大会本大会(島根県)における愛称・スローガン及びマスコットキャラクターについて、資料の通り説明し承認された。

<主な意見>

松永委員	開催県によって、「全国障害者スポーツ大会」の略称が全スポ・全障スポ・障スポとそれぞれであるが何か統一されて決められていないのか。
島根県(清水)	第83回本大会(群馬県)から「全スポ」に統一する予定。これは日本パラスポーツ協会で定めた名称(略称)である。

協議事項8:開催基準要項関係

(1)開催基準要項の改定(総合開・閉会式プログラム[炬火等について])(資料No.8-1/ P.63)

<概要>

長野県はじめ後催県からの要望を受け、開催基準要項第20項及び第22項を改定することが承認された。詳細は資料の通り。

<改定内容>

- ・開催地の特色、特性に応じた項目を協議の上実施できる文言を追加。
- ・「実施競技団体旗」及び「参加都道府県旗」から「式典会場地旗」の掲揚・降納に変更。
- ・「炬火」の点火・納火を削除。
- ・大会旗及び炬火リレーの本文を削除。

<主な意見>

辻委員	滋賀大会では、炬火に関連して各市町村にて火おこしのイベントを行った。今後の開催県については、このようなイベントも行わないのか。
山本委員長	今回の改定は、炬火に関する事項を禁止するものではない。そのため、判断は開催県に委ねる。

(2)施設基準の改定(サッカー)(資料No.8-2/ P.67)

<概要>

日本サッカー協会からの要望に基づき、国民スポーツ大会施設基準を改定することについて資料の通り説明し承認された。

<改定内容>

- ・人工芝ピッチの仕様に関する条件の緩和。

<意見>  
特になし。

### 報告事項1:国スポ改革タスクフォースの状況

(資料No.10/ P.68)

<概要>

令和7年度に計3回開催したタスクフォースの進捗について「議論の進め方」及び「第1期スケジュール」を報告した。タスクフォースにおける会議資料及び議事概要については当協会HPを参照。

<https://www.japan-sports.or.jp/kokutai/tabid1469.html>

<主な意見>

松永委員	Ⅱ 競技会等の形式 2)施設基準の緩和について、国スポにおける施設整備では、更衣室などの付帯施設も整備対象とするべきであり、その旨が明確に分かるよう記載すべきである。
田崎委員	ここでいう「トップアスリートの参加」とはどのようなものを指すのか。
山本委員長	「トップアスリートの参加」とは競技に参加することだけでなく、アスリートが会場に訪れるなどトップアスリートが大会に関わりを持つことである。

### 報告事項2:国スポサポートセンター(JGSC)の取組状況

(1)国スポ開催県への説明会・ヒアリング(資料No.11-1/ P.70)

<概要>

当協会及びJGSCが合同で実施した国スポ開催県への説明会及びヒアリングの結果について報告した。開催県からの要望を踏まえ、令和8年度のJGSC事業計画に反映をしていくことを併せて報告した。

<主な意見>

中村委員	大会の運営側だけでなく、大会に参加した側からの意見も拾い上げてほしい。
------	-------------------------------------

(2)国スポ大会チケット販売実証事業(資料No.11-2/ P.71)

<概要>

開催自治体の財政的な負担軽減を図るため、JGSCと連携し新たな財源確保に向けた標記実証事業を行うことを検討しており、本事業の協力先として、山梨県、甲府市等に協力依頼を行うことを報告し、了承された。本事業の対象大会は以下の通り。

1. 対象大会:第81回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会(フィギュアスケート)
2. 開催期日:令和9(2027)年2月5日(金)~8日(月) ※販売対象日については今後検討
3. 開催場所:小瀬スポーツ公園アイスアリーナ(山梨県甲府市小瀬町 840)

<主な意見>

中嶋委員	滋賀大会では水泳競技がものすごく人気であったため、整理券を配布し種目ごとに観客を入れ替えた。チケット販売を行うことで、観客の入れ替えがしにくくなるのではないか。
事務局(品治)	課題として今後考えていきたい。今回は、国スポにおいてチケットを売るという体制を構築することを目的としたい。

### 報告事項3:第80回大会冬季大会・本大会(青森県)関係

(1)冬季大会終了報告(資料No.12-1/ P.74)

<概要>

第80回大会冬季大会について、終了したことを報告した。

<意見>

特になし。

(2)予選免除対象大会(資料No.12-2/ P.79)

<概要>

令和7(2025)年度第3回国スポ委員会(令和7年12月12日開催)において決定した予選会免除対象大会について、新たに会期が決定した計11大会を正式に予選免除大会として取り扱うことを報告した。

<意見>

特になし。

(3)総合開・閉会式の入場料(資料No.12-3/ P.81)

<概要>

第80回大会本大会(青森県)における総合開・閉会式の入場料について、今大会は式典の屋内開催より観覧席の数が限られることから一般観覧者の募集を行わないことを報告した。

<意見>

特になし。

(4)文化プログラム事業(資料No.12-4/ P.82)

<概要>

第80回大会本大会(青森県)における文化プログラム事業について、青森県内全40市町村にて計166事業を行うことを報告した。

<意見>

特になし。

(5)競技会会期変更及び競技会場名の変更(資料No.12-5/ P.97)

<概要>

第80回大会本大会(青森県)における競技会会期の変更及び競技会場名の変更について、下記の通り変更したことを報告した。

① 競技会期の変更について

【正式競技】

競技・種目名	開催予定会期	
ライフル射撃(50m)	変更前	2026年9月10日(木)~9月12日(土)
	変更後	2026年9月10日(木)~9月13日(日)

【公開競技】

競技名	開催予定会期	
パワーリフティング	変更前	2026年9月26日(土)~9月28日(月)
	変更後	2026年9月26日(土)~9月27日(日)

② 競技会場名の変更について

【正式競技】

競技名	競技会場	
サッカー	変更前	五戸町ひばり野公園陸上競技場
	変更後	ひばり野公園陸上競技場

<意見>

・特になし。

**報告事項4:第 81 回大会本大会(宮崎県)関係**

**(1)競技会会期変更及び競技会場名の変更(資料No.13-1/ P.100)**

<概要>

5競技の競技会会期に変更が生じたことを報告し、また、ネーミングライツの導入に伴って、一部競技の会場名に変更が生じたことを報告した。

<意見>

特になし。

**(2)デモンストレーションスポーツの主管団体名・競技名・競技会場名・競技日の変更(資料No.13-2 / P.106)**

<概要>

一部デモンストレーションスポーツの主管団体名・競技名・競技会場名・競技日に変更が生じたことを報告した。

<意見>

特になし。

**報告事項5:第 82 回大会本大会(長野県)関係**

**(1)デモンストレーションスポーツ主管団体の変更(資料No.14/ P.110)**

<概要>

一部デモンストレーションスポーツの主管団体に変更が生じたことを報告した。

<意見>

特になし。

**報告事項6:令和 8(2026)年度国スポ関係会議日程(資料No.15/ P.113)**

<概要>

令和 8(2026)年度国スポ関係会議日程を報告した。

<意見>

特になし。

以上

## 令和7(2025)年度 臨時国スポ委員会 議事概要

1. 日時 : 令和8(2026)年3月31日(火)15:00~16:00

2. 出席者 : 【委員】(敬称略、◎印はオンライン出席者)

<出席>

山本浩、松永敬子◎、鹿島丈博◎、櫻井由香◎、金子日出澄◎、三宅宏美、  
笠野英弘、加藤光国、菅原哲朗、田崎博道、菅原哲朗、松田基子◎、三ヶ田礼一◎、  
出崎和夫◎、宇野武◎、熊谷利彦◎、吉田崇◎、中村宏平◎

<欠席>

山本誠三、稲垣公雄、山澤文裕、元橋洋介、佐橋誠、田内慎也、藤本格、山下栄次、  
北島隆英

【陪席】(敬称略)

スポーツ庁 柿崎

【JSPO 事務局】

国スポ推進部・国スポ課(加藤、小澤、品治、富澤、政岡、坊)

3. 開催方法: オンライン・対面の併用開催

4. 議事:

協議事項1: 第5期実施競技選定関係〔非公開〕(資料No.1)

<概要>

第5期実施競技選定WGにおいて評価した競技ごとの得点を基に、実施競技について協議した。  
冬季大会3競技、本大会37競技の計40競技を選定することが承認された。

<主な意見>

田崎委員	本実施競技選定の基準について教えてほしい。 冬季競技の位置づけについて教えてほしい。
JSPO(品治)	評価は、細かく基準を設け実施している。 基準を作成した当初から「冬季大会は冬季競技を行うもの」という認識があった。冬季大会で行う3競技は別枠として考えている。
田崎委員	冬季大会の定義については、どこかに記載はあるのか。
JSPO(加藤)	開催基準要項上においては冬季大会の定義は定めていない。 資料上に定義はないが、今までの慣習があり、「冬季大会では冬季競技を行うもの」という認識があった。
菅原委員	フェンシングとスキーに関しては、点数評価の結果において100点以上の差が生じている。 当該結果を公表する際には、スポーツ仲裁裁判における提訴の可能性も念頭に置き、対応を進める必要がある。
加藤委員	次の3巡目については、開催県の意向を汲めるような仕組みとしていただきたい。
松永委員	WGの立ち上げ時にはTFはまだ立ち上がってなかった 3巡目については現状の課題を解決してほしい。

協議事項2: 国スポ改革先行導入大会〔非公開〕(資料No.2)

<概要>

現在、JSPOにて行われている国スポ改革タスクフォースで協議されている内容を共有した上で、  
国スポ改革先行導入大会の実施について説明し、承認された。

協議事項1とともに、令和8年4月15日開催の第1回JSPO理事会に付議する。

<主な意見>

熊谷委員	国スポ改革先行導入大会については、開催県の負担は全くないという認識でよろしいか。
JSPO(加藤)	費用面での負担はないが、人的負担等負担がないわけではない。
JSPO(岩田)	山梨県を含む国スポ本大会の開催県で必ずしもこの大会が開かれるわけではない。
熊谷委員	国スポ改革先行導入大会で実施する競技は、フェンシングとダンススポーツの2競技より増える可能性はあるのか。
JSPO(岩田)	47都道府県の支部が、47都道府県スポーツ協会に加盟していることが条件であり、他の競技がその条件に合致する可能性は低いと考えている。
松田委員	国スポ改革タスクフォースで議論されている「JG1～3」について、カテゴリーによって、参加数や大会規模はどのように異なってくるのか。
JSPO(小澤)	未定である。
加藤委員	IOCではアーバンシリーズがすでに始まっている。 このような世界的な潮流を踏まえ、国スポにおいてもアーバンシリーズのような形で展開する大会とすることには賛成である。
笠野委員	第5期実施競技選定の結果としてフェンシングおよびダンススポーツが落選したという結論を出した後に、今回の国スポ改革先行導入大会が提案されるという流れになるのか。 その場合、フェンシングおよびダンススポーツを救済するための措置である、との見方をされかねないのではないかと懸念である。 また、JG1に昇格することに伴うインセンティブには、具体的にどのようなものがあるのか。
JSPO(小澤)	スケジュールについては、資料に記載のとおりである。 笠野委員の懸念を払拭できるよう、提示方法について検討する。 JG1に昇格した競技に対するインセンティブについて、例えば、JG1の競技については、競技会運営のサポート体制が充実するなどの仕組みを検討している。

**協議事項3:JSPO中期計画 2023 - 2027[非公開] (資料No.3)**

- (1)国体(国スポ)へのトップアスリート参加促進とJSPO TV国体(国スポ)チャンネルの発展
- (2)国体(国スポ)の魅力向上のためのNFイベント事業の拡大
- (3)冬季国体(国スポ)開催地選定と持続可能な開催の実現

<概要>

国スポ課が所管する上記3点の目標について、令和7年度の成果目標レポートについて説明し、3点の評価について承認された。

<主な意見>

三ヶ田委員	冬季大会については、予算の制約により、国スポチャンネルでの配信が実施できないという実態がある。 一方で、補助等の支援があれば、さらなる発展が見込まれるのではないかと考えている。
JSPO(小澤)	いただいたご意見は担当課に共有する。 ただ、近年の物価高騰などの影響で全競技配信することは厳しい実情がある。
吉田委員	国スポチャンネルについて、マイナースポーツや競技会場の規模が小さい競技こそ、国スポチャンネルを活用してほしい。

以上

## 令和7・8年度 日本スポーツ協会 国民スポーツ大会委員会 委員名簿

2026/6/2

No.	役職名	氏名	JSPO役職等	所属団体等	検討小委員会
1	委員長	山本 浩	常務理事	日本スポーツ協会	○
2	副委員長	松永 敬子	学識経験者	龍谷大学	○
3	委員	鹿島 丈博	理事	日本体操協会	○
4	委員	櫻井 由香	理事	日本バレーボール協会	
5	委員	金子 日出澄	評議員	日本水泳連盟	
6	委員	山本 誠三	評議員	京都府スポーツ協会	○
7	委員	三宅 宏美	学識経験者	日本オリンピック委員会	
8	委員	稲垣 公雄	学識経験者	三菱総合研究所	○
9	委員	笠野 英弘	学識経験者	筑波大学	○
10	委員	関口 直樹	学識経験者	スポーツ庁	○
11	委員	菅原 哲朗	学識経験者	キーストーン法律事務所	○
12	委員	田崎 博道	学識経験者	日本陸上競技連盟	
13	委員	松田 基子	学識経験者	大阪体育大学	○
14	委員	三ヶ田 礼一	学識経験者	岩手県	○
15	委員	山澤 文裕	学識経験者	丸紅東京本社診療所	○
16	委員	福田 一稔	学識経験者	全国都道府県体育・スポーツ・保健・給食主管課長協議会	
17	委員	出崎 和夫	開催県	青森県国スポ・障スポ局	
18	委員	宇野 武	開催県	青森県スポーツ協会	
19	委員	酒井 俊治	開催県	山梨県	
20	委員	小竹 喜也	開催県	岐阜県	
21	委員	田内 慎也	開催県	岩手県	
22	委員	秋田 勝行	開催県	神奈川県	
23	委員	中尾 慶一郎	開催県	宮崎県 宮崎国スポ・障スポ局	
24	委員	若林 繁幸	開催県	宮崎県スポーツ協会	
25	委員	下條 伸彦	開催県	長野県国スポ・全障スポ大会局	
26	委員	中村 宏平	開催県	長野県スポーツ協会	
27	オブザーバー	森岡 裕策	専務理事	日本スポーツ協会	
28	オブザーバー	岩田 史昭	常務理事兼事務局長	日本スポーツ協会	

任期: 令和9年度日本スポーツ協会定時評議員会終結時まで